

TASCAM

D01236001H

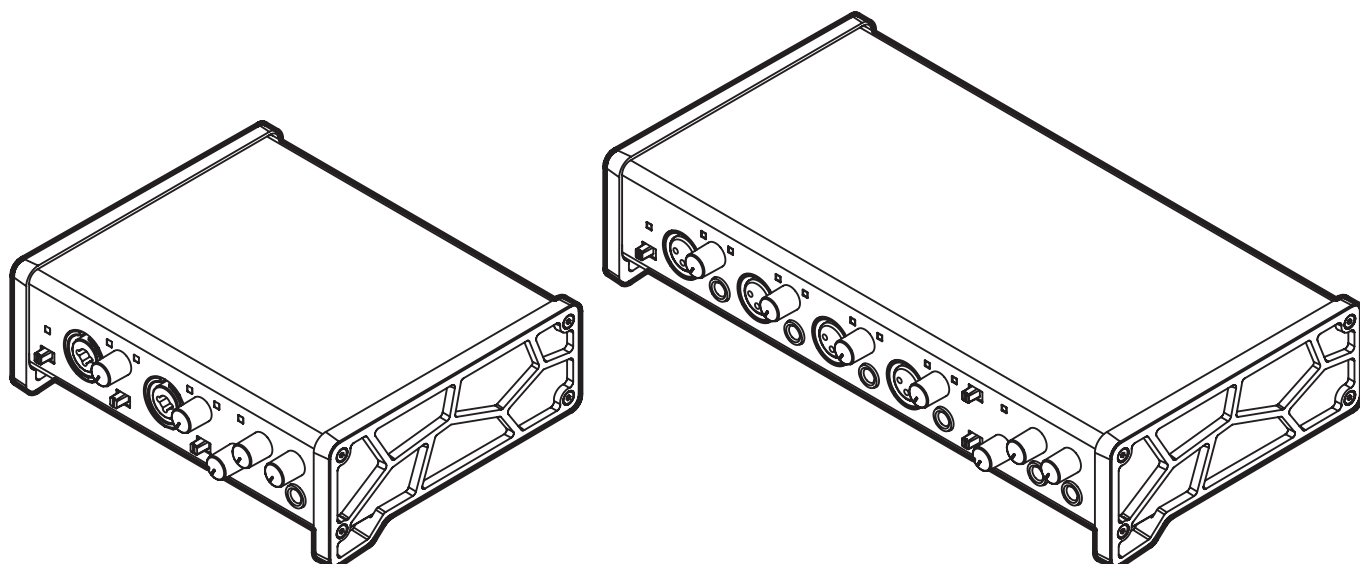
US-2x2

US-4x4

USB Audio/MIDI Interface



リファレンスマニュアル



本機をパソコンに接続する前に、専用ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

目次

第1章 はじめに.....3	スタンドアローンモード動作時の各設定.....20
本機の概要.....3	Settings Panel の設定.....20
本書の表記.....3	
商標および著作権に関して.....3	
第2章 各部の名称と働き.....4	
フロントパネル.....4	
リアパネル.....5	
第3章 インストール.....6	
必要なシステム.....6	
Windows の必要なシステム.....6	
Mac の必要なシステム.....6	
iOS デバイスの必要なシステム.....6	
対応するオーディオドライバー.....6	
専用ソフトウェアをインストールする.....6	
Windows 専用ソフトウェアのインストール.....6	
Mac 専用ソフトウェアのインストール.....7	
Gatekeeperについて.....8	
専用ソフトウェアのアンインストール.....9	
Windows 専用ソフトウェアのアンインストール.....9	
Mac 専用ソフトウェアのアンインストール.....9	
第4章 準備.....10	
電源の接続.....10	
コンセントプラグの交換方法 (US-4x4 のみ).....10	
第5章 接続.....11	
外部機器を接続する.....11	
パソコンの接続.....11	
オーディオの接続.....11	
マイク.....11	
ギター.....12	
電子楽器/オーディオ機器など.....12	
アナログレコードプレーヤー.....12	
モニタースピーカー.....12	
ヘッドホン.....12	
MIDIの接続.....12	
iOS デバイスとの接続.....12	
第6章 Settings Panelの設定.....13	
Settings Panelを開く.....13	
Windows.....13	
Mac.....13	
Windows 専用Settings Panelについて.....13	
《Home》タブ画面.....13	
《Settings》タブ画面.....14	
《Custom》タブ画面.....15	
Mac 専用Settings Panelについて.....16	
最新情報のお知らせ機能.....17	
Settings Panel ・ファームウェアの自動更新機能.....17	
第7章 アプリケーションガイド.....18	
DAWソフトウェア.....18	
バンドルDAWソフトウェア.....18	
その他のDAWソフトウェア.....18	
使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ).....18	
Windows Media Player.....18	
Mac OS X と iTunes.....19	
第8章 スタンドアローンモード.....20	
概要.....20	
スタンドアローンモード動作時の各設定.....20	
Settings Panel の設定.....20	
第9章 MIDI インプリメンテーションチャート.....21	
第10章 トラブルシューティング.....22	
第11章 仕様.....24	
定格.....24	
入出力定格.....24	
アナログオーディオ入力定格.....24	
アナログオーディオ出力定格.....24	
コントロール入出力定格.....24	
オーディオ性能.....24	
動作条件.....25	
Windows.....25	
Mac.....25	
iOSデバイス.....25	
対応オーディオドライバー.....25	
一般.....25	
寸法図.....25	

本機の概要

- 24ビット／96kHzのオーディオインターフェイスを搭載
- 複数（※1）のアナログ入力信号（L／R）を同時に入力し、USB経由で同時にパソコンへ出力することが可能
- XLRマイク入力（バランス（※2））およびTSR標準ジャック入力（バランス（※3）／アンバランス（※4））を複数装備
- TS標準ジャック入力は、MIC/LINE INSTスイッチを「INST」（インストゥルメント入力）に側に切り換えて、エレキギターやエレキベースなどの接続が可能（※5）
- バランスステレオライン出力（※6）およびヘッドホン出力（※7）を装備
- MIDI IN/OUT装備
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能
- USB端子（USB-Bタイプ、USB2.0規格）を装備
付属のUSBケーブルを使ってパソコンまたはApple社製のLightning - USBカメラアダプタを使用して、iOSデバイスを接続

注意

US-2x2をパソコンとUSB接続で使用する場合、USBバスパワーで動作します。

ただし、iOSデバイスとUSB接続をする場合は電源不足になりますので、別途外付けの電源デバイスをご購入ください。（US-4x4は、付属の専用ACアダプターを常時接続でご使用ください）。

- 生放送／カラオケに便利なSoftware mixer機能（Windows専用）
- DAWソフトウェアをバンドル

（※1）US-2x2：2入力、US-4x4：4入力

（※2）XLR-3-31相当

US-2x2：2入力、US-4x4：4入力

US-2x2は、XLR/TRSコンボジャックを装備

（※3）6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック

（MIC/LINE INSTスイッチを「MIC/LINE」に設定時）

US-2x2：2入力、US-4x4：4入力

（※4）6.3mm（1/4"）TS標準ジャック

（MIC/LINE INSTスイッチを「INST」に設定時）

US-2x2／US-4x4：各2入力

（※5）US-4x4は、「IN1-IN2」のみ対応

（※6）6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック

US-2x2：2出力、US-4x4：4出力

（※7）6.3mm（1/4"）ステレオ標準ジャック

US-2x2：1出力、US-4x4：2出力

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストールについては、6ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のボタン／端子などを「PHONESつまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、[ヒント]、[メモ]、[注意]として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、OS X、macOS、App Store および iTunes は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- IOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

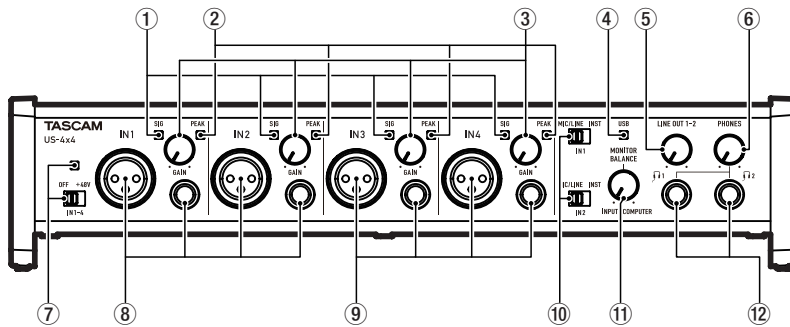


- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

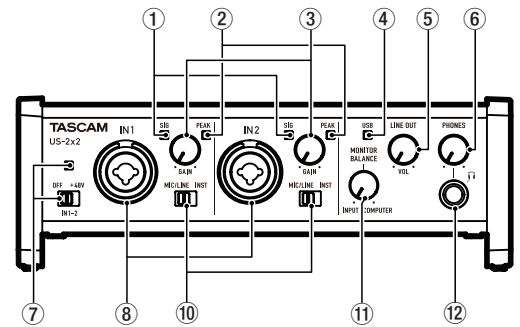
第2章 各部の名称と働き

フロントパネル

US-4x4 フロントパネル



US-2x2 フロントパネル



① SIGインジケーター

SIGインジケーターは、IN1 / IN2 (US-4x4はIN3 / IN4を含む) に信号が入力されているとき(-32dBFS以上)に緑色に点灯します。

② PEAKインジケーター

PEAKインジケーターは、IN1 / IN2 (US-4x4はIN3 / IN4を含む)の信号が歪む直前(-1dBFS以上)から赤く点灯します。

③ GAINつまみ

IN1 / IN2 端子 (US-4x4はIN3 / IN4 端子を含む) からの入力レベルを調節します。

PEAKインジケーターが点灯しないように調節してください。

④ USBインジケーター

USB接続が有効なときに点灯します。

⑤ LINE OUTつまみ

LINE OUT 1-2 端子の出力レベルを調節します。

⑥ PHONESつまみ

PHONES端子 (US-4x4は⑩1 端子および⑩2 端子) の出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑦ ファントム電源スイッチ／インジケーター

IN1 / IN2 端子 (US-4x4はIN3 / IN4 端子を含む) に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

ファントム電源スイッチが「+48V」のときにインジケーターが点灯します。

注意

- LINE OUTつまみとPHONESつまみを下げた状態でファントム電源スイッチの+48V / OFF切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- ファントム電源スイッチは、入力チャンネル (US-2x2: 2入力、US-4x4: 4入力) を同時に切り換えます。
- ファントム電源スイッチを「+48V」にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチを「+48V」にしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源スイッチを「+48V」にすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。

- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご利用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- バッテリー電源で駆動中のノートパソコンに本機を接続して、ファントム電源スイッチを「+48V」にすると、そのパソコンのバッテリー電源の消費が早くなります。

⑧ IN1/IN2 [BALANCED/UNBALANCED] 端子

XLR/TRS コンボジャック (US-2x2)、XLRジャックおよびTRS標準ジャック (US-4x4) による入力端子です。TRSジャックは、フロントパネルにあるMIC/LINE INSTスイッチにより、バランスライン入力 (MIC/LINE時) とアンバランス入力 (INST時) の切り換えが可能です。ギターやベースなどの楽器を直接接続する場合は、MIC/LINE INSTスイッチを「INST」にします。

⑨ IN3/IN4 [BALANCED] 端子

XLRバランスタイプのアナログマイク入力とTRS標準ジャック対応のバランスライン入力端子です。

メモ

US-4x4にはIN1-IN4 (⑧、⑨) のそれぞれに、2つの入力端子 (XLRとTRS) があります。同じインプットのXLR端子とTRS端子には、同時に信号を入力しないでください。同時に信号を入力すると、信号が正しく入力されません。

⑩ MIC/LINE INSTスイッチ

IN1 / IN2 端子の入力ソースに応じて設定します。

電子楽器やオーディオ機器またはマイクなどを接続する場合は「MIC/LINE」に、エレキギターやエレキベースなど出力インピーダンスの高い機器を接続する場合は「INST」にします。

⑪ MONITOR BALANCE つまみ

ダイレクトモニター機能により、遅延がない入力モニターが可能です。

Settings Panelの《Line Out 1-2》で《Monitor Mix》を選択している場合、ダイレクトモニター機能が有効になり、本機の入力端子からの入力信号と、パソコンからの出力信号のモニタリング音量を調節します。

MONITOR BALANCEつまみを左側 (INPUT) に回すと本機の入力端子からの信号が大きくなり、右側 (COMPUTER) に回すとパソコンからの信号が大きくなります。このつまみは、モニターバランス音量を調節するためのつまみですので、録音レベルには影響しません。

メモ

本機の入力端子からの信号をモニターしている場合、DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力（モニターオンなど）に設定していないことを確認してください。入力信号にパソコンからの出力信号が加わり、重なって聴こえる現象が発生することがあります。

⑫ PHONES端子

ステレオヘッドホンを接続するためステレオ標準ジャックです。（US-4x4は⑬1端子および⑬2端子）

LINE OUT 1-2端子と同じ信号が出力されます。

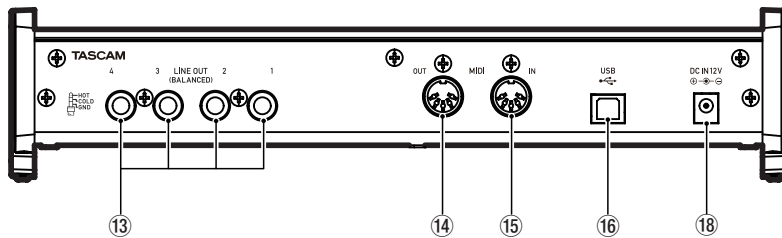
ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

メモ

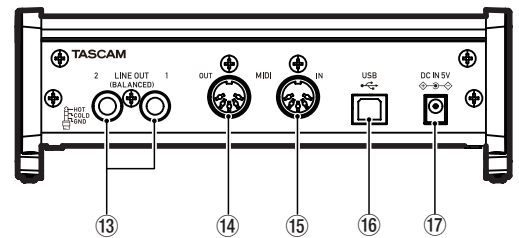
US-4x4の⑬1端子および⑬2端子からは、同じ信号が出力されます。

リアパネル

US-4x4 リアパネル



US-2x2 リアパネル



⑬ LINE OUT [BALANCED] 端子

TRS標準ジャックタイプのアナログライン出力です。
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

LINE OUT 1-2端子（US-4x4は1-4端子）から出力する信号は、Settings Panel上で設定できます。

詳しくは、14ページ「《Settings》タブ画面」の「③ LINE OUT項目」をご参照ください。

⑭ MIDI OUT 端子

DIN 5ピンの標準MIDI出力端子です。
MIDI信号を出力します。

⑮ MIDI IN 端子

DIN 5ピンの標準MIDI入力端子です。
MIDI信号を入力します。

⑯ USB 端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。
(USB 2.0に対応)

注意

- US-2x2をパソコンとUSB接続で使用する場合、パソコンのUSB端子から電源を供給します。パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるために必要な電源を供給することができない場合があります。
- USB3.0のポートに接続時は、USB2.0と同等なHigh Speedモード（最大480Mbps）で動作します。
- パソコンのサスペンドモードからの復帰後、正常に動作しない場合は、本記の電源を入れ直すか、USBケーブルの接続を直ししてください。

⑰ DC IN 5V 端子 (US-2x2のみ)

iOSデバイスを接続して使用する場合、外付けの電源デバイスを接続します。詳しくは、10ページ「電源の接続」をご参照ください。

メモ

US-2x2をパソコンと接続して使用する場合は、パソコンのUSB端子から電源を供給しますので、別売の専用ACアダプターは必要ありません。

ただし、パソコンによっては、USBポートから本機を動作させるための必要な電源を供給することができない場合があります。その場合には、別売の専用ACアダプターをご使用ください。

⑱ DC IN 12V 端子 (US-4x4のみ)

付属の専用ACアダプター（PS-P1220E、DC12V）を接続します。

第3章 インストール

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にて、ご確認ください。

Windows の必要なシステム

対応OS

Windows 10 32ビット
Windows 10 64ビット
Windows 8.1 32ビット
Windows 8.1 64ビット
Windows 7 32ビット SP1 以上
Windows 7 64ビット SP1 以上
(Windows 8、Windows Vista および Windows XP はサポート外)

対応パソコン

USB 2.0 を装備した Windows 対応パソコン

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac の必要なシステム

対応OS

macOS High Sierra (10.13 以降)
macOS Sierra (10.12 以降)
OS X El Capitan (10.11 以降)

対応パソコン

USB2.0 を装備した Mac

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOSデバイスの必要なシステム

対応OS

iOS7 以降のApple社製品

対応するオーディオドライバー

Windows : ASIO2.0、WDM、MIDI
Mac : Core Audio、Core MIDI

専用ソフトウェアをインストールする

本機を使用するには、パソコンに専用ソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアは、随時更新されています。最新のソフトウェアは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに対応した最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

- Windows パソコンは、専用ソフトウェアをインストールするとWindows 専用のドライバー、およびWindows 専用の Settings Panel (アプリケーション) がインストールされます。
- Macの場合は、専用ソフトウェアをインストールするとMac専用の Settings Panel (アプリケーション) のみをインストールします。
ドライバーは、OS標準ドライバーを使用します。
- iOSデバイスの場合は、iOS標準のドライバーを使用しますので、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール

注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで接続する前に、Windows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンにWindows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに《新しいハードウェアの検出ウィザード》が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のWindows 専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したWindows 専用ソフトウェア (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある《TASCAM_US-2x2_US-4x4_Installer_x.xx.exe》をダブルクリックすると、自動的にインストールソフトウェアが起動します。

注意

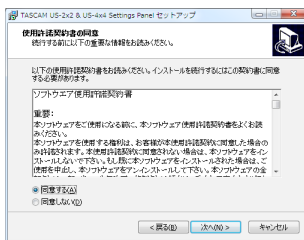
zipファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォルダーでexeファイルをダブルクリックした場合には、インストーラーは起動できません。zipファイルを右クリックして表示されるメニューから《すべて展開...》を選択するなどして解凍してから再度実行してください。

4. 《セキュリティの警告》または《ユーザーアカウント制御》の画面が表示されますので、《はい(Y)》ボタンをクリックします。

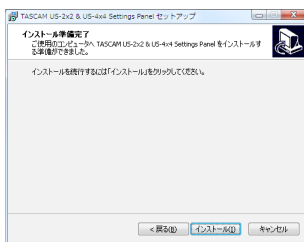
5. 《セットアップウィザード》の画面が表示されたら、《次へ (N) >》ボタンをクリックします。



6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができたなら、《同意する (A)》を選択します。次に《次へ (N) >》ボタンをクリックします。



7. 次に《インストール (I)》ボタンをクリックします。



8. 次に《インストール (I)》ボタンをクリックすると、インストーラーが開始されます。



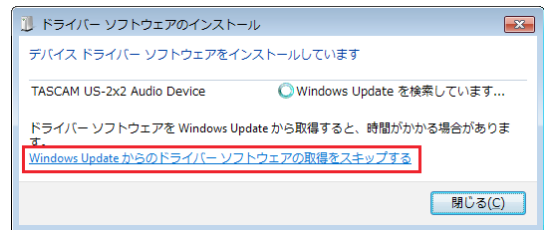
9. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《完了 (F)》ボタンをクリックします。



インストーラーが終了し、Windows 専用の Settings Panel が起動します。

メモ

ソフトウェアをインストール後に初めて本機を USB 接続すると、デバイスドライバーのインストールが実行されます。このとき Windows は、自動的に Windows Update を検索するため、本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプレイ右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を表示させ、《Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする》をクリックして、検索を終了させてください。



Mac 専用ソフトウェアのインストール

メモ

- Mac 専用ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終了してからインストールを開始してください。
- Mac 専用ソフトウェアのインストール中に、《“US-2x2_US-4x4 Installer.dmg” は、Mac App Store からダウンロードされたものでないため開けません。》などの警告メッセージが表示されることがあります。これらの警告メッセージが表示されたときは、8 ページ「Gatekeeper について」の対処方法を行った上で、インストールを続けてください。

Mac 専用ソフトウェアのインストール手順

- TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用の OS に適した最新の Mac 専用ソフトウェアをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
- 保存した Mac 専用ソフトウェアのディスクイメージファイル《US-2x2_US-4x4 Installer.dmg》ファイルをダブルクリックし、開いたフォルダー内の《US-2x2_US-4x4 Installer.pkg》をダブルクリックします。



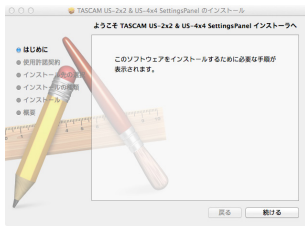
US-2x2_US-4x4
Installer.pkg

メモ

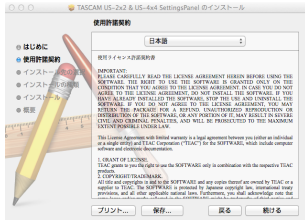
ご使用の環境により、ダウンロードした zip ファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zip ファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

第3章 インストール

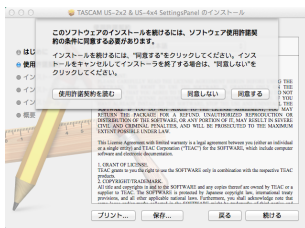
- 3. インストーラーが起動しますので、《続ける》ボタンをクリックします。



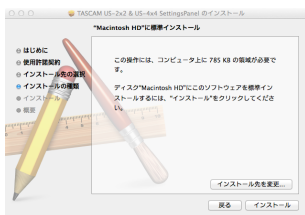
- 4. 次に希望の言語を選択し、《続ける》ボタンをクリックします。



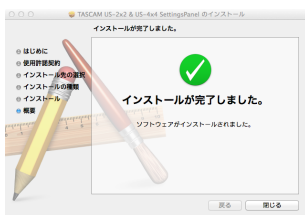
- 5. 《使用許諾契約を読む》ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、《同意する》を選択します。次に《続ける》ボタンをクリックします。



- 6. 次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《閉じる》ボタンをクリックします。



Gatekeeperについて

Mac OS Xをお使いの場合、セキュリティ機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》にしている場合

《“US-2x2_US-4x4 Installer.dmg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というセキュリティの警告画面が表示されることがあります。



その場合には《OK》ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから《開く》をクリックしてください。

《“US-2x2_US-4x4 Installer.dmg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?》という警告画面が表示されますので、《開く》ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

《“US-2x2_US-4x4 Installer.dmg” は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。》というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーから、デスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を《Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可》に変更してから再度実行してください。


Gatekeeperの設定を《Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可》以外にしている場合

《“US-2x2_US-4x4 Installer.dmg” は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?》というセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、その場合には《開く》ボタンをクリックしてください。




Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の《セキュリティとプライバシー》から《一般》タブの《ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:》項目で変更できます。

変更するには左下の《》アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



《》ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または《すべてを表示》をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティを下げた（下にある項目に変更した）ときは、本ソフトウェアやファームウェアアップデートの終了後（ソフトウェアをインストール直後にファームウェアアップデートを行う場合はファームウェアアップデート後）に設定を元に戻してください。

専用ソフトウェアのアンインストール

メモ


通常は専用ソフトウェアのアンインストール作業は、必要ありません。問題が発生した場合や本機の使用をお止めになる場合に、以下の手順をご参照ください。

Windows 専用ソフトウェアのアンインストール

《プログラムと機能》からアンインストールします。

1. 《スタート》→《コントロールパネル》で、《プログラムと機能》を実行します。

メモ

- Windows 10 では、スタートボタンを右クリックして表示される《コントロールパネル》をクリックします。
 - Windows 8.1 では、スタート画面左下の  ボタンをクリックして表示されるアプリ画面で《コントロールパネル》をクリックします。
2. 《表示方法:》項目が《カテゴリー》の場合は、《プログラム》項目の中の《プログラムのアンインストール》をクリックします。
《表示方法:》項目が《大きいアイコン (L)》または《小さいアイコン (S)》の場合は、《プログラムと機能》を実行します。
3. 一覧の中から《TASCAM US-2x2 & US-4x4 Driver》と《TASCAM US-2x2 & US-4x4 Software Mixer》を選択し、それぞれダブルクリックします。
4. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

Mac 専用ソフトウェアのアンインストール

《US-2x2_US-4x4_Settings Panel》をアプリケーションフォルダー内から削除すれば、アンインストールは完了です。

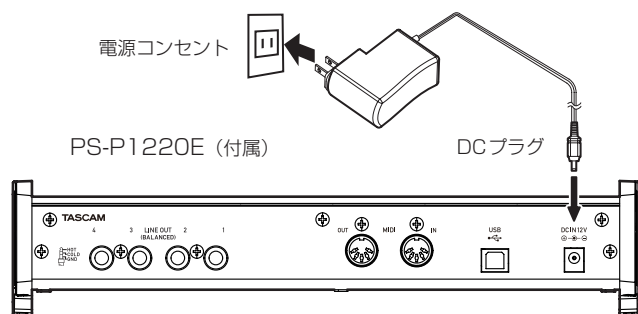
第4章 準備

電源の接続

US-4x4

US-4x4 は、以下のように本機の電源を接続します。

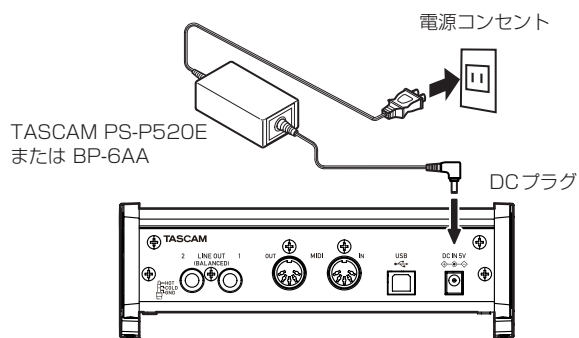
- US-4x4 の専用ACアダプターには、2種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。(→ 10 ページ「コンセントプラグの交換方法 (US-4x4 のみ)」)



US-2x2

通常はUS-2x2 をパソコンに接続して使用する場合、USBバスパワーで起動しますので、別電源は不要です。

ただし、iOSデバイスに接続して使用する場合、本機に電源を供給するため、別途ACアダプター (TASCAM PS-P520E) や外付けバッテリーパック (TASCAM BP-6AA) などの電源デバイスを **DC IN 5V**端子に接続する必要があります。その場合、以下のように電源を接続します。

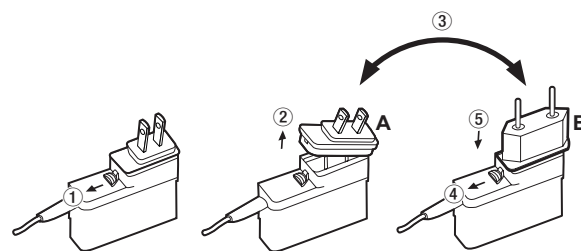


注意

- US-4x4 には、必ず付属のACアダプター (PS-P1220E) をお使いください。
- US-2x2 には、別売のACアダプター PS-P520Eまたは外付けバッテリーパックBP-6AAをご使用になることを強く推奨します。他の電源デバイスをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスをご使用ください。
 - 供給電圧：5V
 - 供給電流：700mA以上

上記の仕様以外の電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。異常がある場合は、使用を中止して、販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

コンセントプラグの交換方法 (US-4x4 のみ)



- ① ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ② コンセントプラグを引き抜きます。
- ③ 付属のAまたはBのコンセントプラグに交換します。
- ④ もう一度、ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ⑤ ACアダプターにコンセントプラグを差し込みます。

以上でコンセントプラグの交換は完了です。

交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

注意

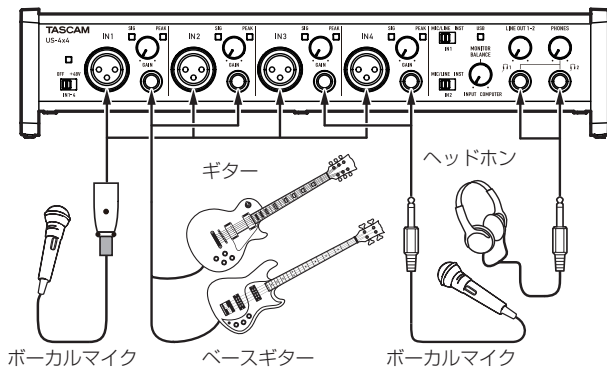
交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。

外部機器を接続する

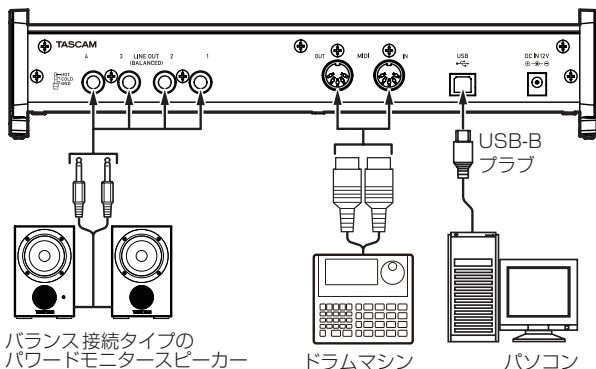
以下に、US-4x4の接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の交流電源は、なるべく同一上の電源ラインから供給するように設置してください。テーブルタップなどをご使用になる場合、交流電源の電圧変動が少なくなるように、電流容量が大きいテーブルタップをご使用ください。



[US-4x4を使った接続例(フロント)]



[US-4x4を使った接続例(リア)]

パソコンの接続

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンのUSB3.0 / USB2.0ポートに接続してください。USBの接続が有効になると、フロントパネルの**USB**インジケータが点灯します。

注意

USBハブなどで本機を接続した場合、そのUSBバス上のUSB機器の影響でオーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどが発生することがあります。そのため本機の接続は、別のUSBポートに接続することを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器など、本機に入力されたアナログ音声信号は、デジタル信号に変換された後にUSBを経由してパソコンに送られます。また、スピーカー(アンプ経由)やヘッドホンの本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。

注意

オーディオ機器を接続する場合には、**GAIN**つまみ、**LINE OUT**つまみ、および**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

マイク

ダイナミックマイク

フロントパネルの**IN1** / **IN2** 端子(US-4x4は、**IN3** / **IN4** 端子を含む)に接続します。

コンデンサーマイク

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、**IN1** / **IN2** 端子(US-4x4は、**IN3** / **IN4** 端子を含む)に接続し、ファントム電源スイッチを「**+48V**」に設定してください。

ファントム電源スイッチが「**+48V**」に設定されているときは、フロントパネルのファントム電源インジケータが点灯します。

注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- ファントム電源スイッチは、入力チャンネル(US-2x2は2入力、US-4x4は4入力)を同時にオン/オフします。ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、ファントム電源を「**+48V**」にしないでください。
- ファントム電源スイッチを「**+48V**」にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- **LINE OUT**つまみと**PHONES**つまみを下げた状態でファントム電源スイッチの**+48V** / **OFF**の切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファントム電源スイッチを「**+48V**」にしてください。ファントム電源を必要としないダイナミックマイクなどを接続しているときにファントム電源スイッチを「**+48V**」にすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご利用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

ギター

ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、フロントパネルのIN1 / IN2 端子に接続し、その端子のMIC/LINE INST スイッチを「INST」に設定します。

電子楽器/オーディオ機器など

電子楽器やオーディオ機器などを接続する場合は、フロントパネルのIN1 / IN2 端子に接続し、その端子のMIC/LINE INST スイッチを「MIC/LINE」に設定します。

アナログレコードプレーヤー

アナログレコードプレーヤーの出力は、直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間にはフォノイコライザーアンプが必要です（あるいはフォノ入力端子を持つオーディオアンプを介して接続します）。

モニタースピーカー

モニタースピーカー（パワーモニタースピーカーまたはアンプ/スピーカーシステム）は、リアパネルのLINE OUT 1-2 端子に接続します。

スピーカーの音量は、フロントパネルのLINE OUTつまみで調整可能です。

ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルのPHONES端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

メモ

US-4x4のIN1 端子およびIN2 端子からは、同じ信号が出力されます。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

MIDIの接続

音源モジュール、キーボード/シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を、以下のように接続します。

- MIDI機器の音をモニターしたい場合は、これらの出力を本機のLINE INに入力するか、外部ミキサーを使ってモニターしてください。
- リアパネルのMIDI IN/MIDI OUT端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、MTC対応アプリケーションソフトでMTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。

注意

- USBインジケータは、接続されたパソコンがシャットダウン後も点灯し続ける場合があります。これは、パソコンによってはシャットダウン後もUSBケーブルを通じて電力を供給し続けるためです。
- Windows Media Player 使用時、コントロールパネル内の《サウンドとオーディオデバイス》からMIDI音楽の再生出力先（既定のデバイス）を《Microsoft GS Wavetable SW Synth》に設定した場合は、本機のLINE OUT [BALANCED] 端子およびPHONES端子からはMIDI演奏を聴くことができません。

iOSデバイスとの接続

US-2x2

Lightning - USBカメラアダプタ※1と外付けの電源デバイス※2が必要です。

US-4x4

Lightning - USBカメラアダプタ※1が必要です。

※1：Apple純正Lightning - USBカメラアダプタを別途、ご用意ください。

※2：10 ページの「電源の接続」に記載されている電源デバイス。

Settings Panelを開く

Settings Panelを使って、本機の各種機能の設定を行うことができます。

Settings Panelを開くには、次の方法があります。

Windows


Windows 10

- Windows のスタートボタンをクリックし、《すべてのアプリ》→《TASCAM》→《US-2x2 & US-4x4 Settings Panel》を選択する。

Windows 8.1

- Windows のスタートボタンを右クリックし、《コントロールパネル》を選択して開く。

メモ

スタートボタンを左クリックしてスタート画面を表示させ、さらに  ボタンをクリックして表示された《アプリ》画面において、《TASCAM》の下の《US-2x2 & US-4x4 Settings Panel》をクリックして開くこともできます。

Windows 7

- Windows のスタートボタンをクリックし、《すべてのプログラム》→《TASCAM》→《US-2x2 & US-4x4 Settings Panel》を選択する。

Mac

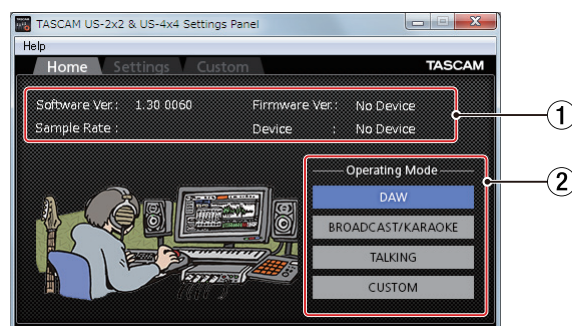
- 《Finder》→《アプリケーション》→《TASCAM US-2x2 & US-4x4 Settings Panel》をクリックして、Settings Panel を開く。
- 《オーディオMIDI設定》の《オーディオ装置》ウィンドウで《US-2x2》または《US-4x4》を選択した状態でcontrolキーを押しながらクリック(右クリック)、または設定ボタンをクリックして表示されるメニューの中から《装置を設定...》をクリックして、Settings Panel を開く。

Windows 専用Settings Panelについて

Windows 専用Settings Panelには、3つのタブ画面があります。Settings Panel上部の各タブをクリックすると、選択されたタブ画面の表示になります。

- Home** : 各種情報の表示、および目的の動作に適したプリセットを選択するタブです。
- Settings** : US-2x2 およびUS-4x4 本体の細かい設定を行います。
- Custom** : ソフトウェアミキサー機能の設定を行います。

《Home》タブ画面



① ステータス（状態）表示部

現在のソフトウェアのステータス（状態）を表示しています。

表示項目	表示内容
《Software Ver.》	ソフトウェアのバージョンを表示。
《Sample Rate》	サンプリング周波数を表示します。Windows 版のみサンプリング周波数の設定が可能です。周波数の設定は、表示欄のプルダウンメニューから44.1k/48k/88.2k/96kHzのいずれかの周波数を選択します。
《Firmware Ver.》	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
《Device》	接続中の本機の装置名を表示。(未接続時は、《No Device》と表示されます)

② Operating Mode項目

本機の動作モードを選択します。

選択項目

《DAW》

SONARなどのDAWソフトウェアを使用する場合、および《BROADCAST/KARAOKE》モードが不要な場合（生放送/カラオケ用途以外）に選択。

《BROADCAST / KARAOKE》

生放送やカラオケなどを行う場合に選択。ループバック機能を有効にするプリセットが呼び出され、パソコンから出力された音と本機のIN1端子、IN2端子から入力されたマイクの音声をミックスして再びパソコンに戻すことができます。

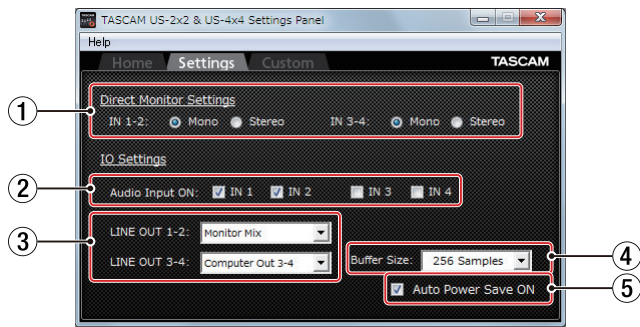
《TALKING》

通話アプリケーションなどで会話を行う場合に選択。ループバック機能を無効にするプリセットが呼び出され、パソコンから出力された音（通話相手の声や自分のパソコン内で再生している音楽など）を再びパソコンに戻さないようになります。

《CUSTOM》

《Custom》タブ画面で設定した動作を行う場合に選択。

《Settings》タブ画面



① Direct Monitor Settings 項目

《IN 1-2》 / 《IN 3-4》 (US-4x4 のみ)

IN1-IN2 / IN3-IN4 端子から入力された信号をモニターする際に《Mono》または《Stereo》に設定します。

- 設定を《Mono》にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままですが、LINE OUT [BALANCED] 端子と PHONES端子から出力される信号が「モノラル」になります。
- 設定を《Stereo》にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままで、LINE OUT [BALANCED] 端子と PHONES端子から出力される信号も「ステレオ」になります。

② Audio Input ON 項目

入力のオン/オフをチャンネルごとに設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (☑) を入れると、その入力がオンになり、そのチャンネルに入力された信号を通します。
- チェックボックスのチェックマーク (☑) を外すと、その入力はオフになり、そのチャンネルに入力された信号は通しません。

③ LINE OUT 項目

《LINE OUT 1-2》

本機の LINE OUT 1-2 端子および PHONES端子 (US-4x4 は 1 端子および 2 端子) から出力する信号を選択します。

《LINE OUT 3-4》 (US-4x4 のみ)

本機の LINE OUT 3-4 端子から出力する信号を選択します。

選択項目

《Monitor Mix》

Audio Input On/Off 項目で設定した入力チャンネルの信号と USB経由でパソコンから出力される信号に MONITOR BALANCEつまみで調整したミックス信号を出力します。

《Computer Out 1-2》

USB経由でパソコンから送られてくる再生信号《Computer Out 1-2》を出力します。

《Computer Out 3-4》 (US-4x4 のみ)

USB経由でパソコンから送られてくる再生信号《Computer Out 3-4》を出力します。

メモ

MONITOR BALANCEつまみを左側 (INPUT) へ最大に回すと入力チャンネルの信号のみとなり、右側 (COMPUTER) へ最大に回すとパソコンからの信号のみとなります。それ以外では、両方の信号がミックスした信号になります。

④ Buffer Size 項目

本機のドライバーは、パソコンとやりとりするオーディオ入力信号を一時的にバッファに蓄えています。

このバッファサイズは、調整が可能です。

バッファサイズが小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合など処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディオ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、バッファサイズを調節することができます。

選択項目

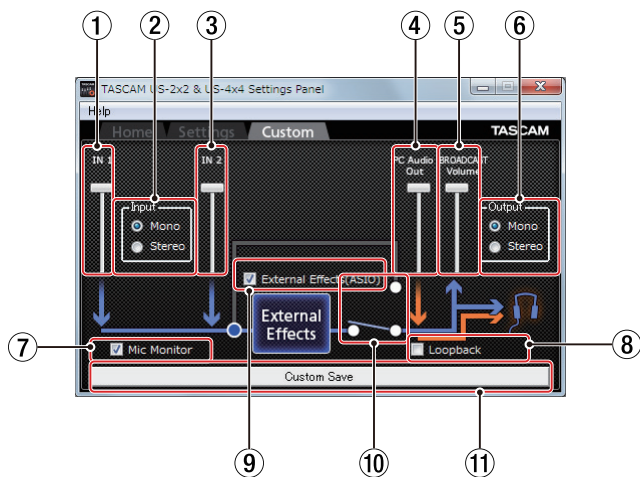
《64 / 128 / 256 / 512 / 1024 / 2048 Samples》

⑤ Auto Power Save ON 項目

スタンバイモード動作時に、本機に入力信号が検出されない状態 (-60dBFS以下の状態) が 30 分間経過した場合に、自動的に電源をオフ (スタンバイ状態) にするかを設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (☑) を入れると、オートパワーセーブ機能がオンになり自動的に電源をオフ (スタンバイ状態) になります。
- チェックボックスのチェックマーク (☑) を外すと、オートパワーセーブ機能はオフになります。

《Custom》タブ画面



① IN1 スライドボリューム

本機のIN1 端子からの入力音量を調節します。

② Input 項目

入力信号を《Mono》／《Stereo》どちらで扱うかを設定します。

選択項目

《Mono》

マイク1本（IN1 端子に接続）での使用の場合でも、内部処理にて《IN1》／《IN2》からの入力として扱います。《IN1》の音声がヘッドホンの左右のチャンネルから聴こえます。

生放送などでマイクを使用する場合、通常はこちらを選択してください。

《Stereo》

マイク1本（IN1 端子に接続）での使用の場合でも、内部処理にて《IN1》／《IN2》からの入力として扱いません。《IN1》からの入力としてのみ扱います。

《IN1》の音声がヘッドホンの左チャンネルから、《IN2》の音声がヘッドホンの右チャンネルから聴こえます。

生放送やカラオケ用途において、キーボードなど元々ステレオの音声を入力する場合にこちらを選択してください。

メモ

《Mono》設定にしている場合でもDAWモード選択時には、自動的に《Stereo》に切り換わります。

③ IN2 スライドボリューム

本機のIN2 端子からの入力音量を調節します。

④ PC Audio Out スライドボリューム

Windows Media Player やカラオケアプリで再生している音量を調節します。

⑤ BROADCAST Volume スライドボリューム

Sound Recorder やカラオケアプリで録音する音量を調節します。また、生放送アプリでは、放送する音量を調節します。

メモ

- 各種スライドボリュームで音量レベルを確認しながら調整するには、本体のMONITOR BALANCEつまみを右側（COMPUTER）いっぱいにしてください。
- スライドボリュームをダブルクリックすると初期値に戻ります。

⑥ Output 項目

出力信号を《Mono》／《Stereo》どちらで扱うかを設定します。

選択項目

《Mono》

ご使用になるアプリケーションによっては左側の音声しか扱えない場合があります。このようなアプリケーションを使用すると、右側の音声を送出または録音できなくなってしまいます。

《Mono》に設定すると、左右の音がミックスされモノラルサウンドをパソコンに送ることができます。

《Stereo》

ご使用になるアプリケーションがステレオに対応している場合に設定します。

《Stereo》に設定すると、ステレオサウンドをパソコンに送ることができます。

メモ

《Mono》に設定した場合、ステレオの入力信号は全てモノラルになります。マイク入力で、②《Input》項目を《Stereo》に選択している場合でも、こちらの設定が優先されます。

⑦ Mic Monitor項目

《Mic Monitor》のチェックボックスにチェックマーク（）が入っているとき、マイク音声などの入力は《PC Audio Out》とミックスされパソコンにループバックされます。

《Mic Monitor》のチェックボックスにチェックマーク（）を外すと、IN1 およびIN2 から入力したマイク音声などをヘッドホン出力に戻さないようになります。

⑧ Loopback項目

《Loopback》のチェックボックスにチェックマーク（）が入っているとき、パソコンからの音がBROADCASTとPHONES端子に出力されます。

《Loopback》のチェックボックスのチェックマーク（）を外すと、パソコンからの音がPHONES端子のみ出力されます。

⑨ External Effects (ASIO) 項目

本機に入力しているマイクなどに外部エフェクトを使ってエコーなどをかける場合には、《External Effects (ASIO)》のチェックボックスにチェックマーク（）を入れます。

注意

放送用ソフトウェアの設定によっては、信号がループしハウリング現象を起こすことがありますのでご注意ください。

メモ

《External Effects (ASIO)》のチェックボックスのチェック（）を外していても、DAWモード選択時には自動的にチェックマーク（）が入ります。

⑩ External Effectsスイッチ

《External Effects (ASIO)》のチェックボックスにチェックマーク（）が入っているとき、スイッチが《External Effects》側に設定され点灯します。

⑪ Custom Save ボタン

ボタンをクリックすると、《Custom》タブ画面の設定状態を保存します。

保存された設定は、《Home》タブ画面の《Operating Mode》項目の《Custom》で使用できます。

Mac 専用Settings Panelについて



① ステータス (状態) 表示部

現在のソフトウェアのステータス (状態) を表示しています。

表示項目	表示内容
《Software Ver.》	ソフトウェアのバージョンを表示。
《Sample Rate》	サンプリング周波数を表示します。 Windows 版のみサンプリング周波数の設定が可能です。 周波数の設定は、表示欄のプルダウンメニューから44.1k/48k/88.2k/96kHzのいずれかの周波数を選択します。
《Firmware Ver.》	接続中の本機のファームウェアバージョンを表示。
《Device》	接続中の本機の装置名を表示。 (未接続時は、《No Device》と表示されます)

② Direct Monitor Settings 項目

《IN 1-2》 / 《IN 3-4》 (US-4x4 のみ)

IN1-IN2 / IN3-IN4 端子から入力された信号をモニターする際に 《Mono》 または 《Stereo》 に設定します。

- 設定を 《Mono》 にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままですが、LINE OUT [BALANCED] 端子と PHONES端子から出力される信号が「モノラル」になります。
- 設定を 《Stereo》 にした場合
パソコンに送られる信号は「ステレオ」のままで、LINE OUT [BALANCED] 端子と PHONES端子から出力される信号も「ステレオ」になります。

③ Audio Input ON 項目

入力のオン/オフをチャンネルごとに設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (☑) を入れると、その入力が入オンになり、そのチャンネルに入力された信号を通します。
- チェックボックスのチェックマーク (☑) を外すと、その入力はオフになり、そのチャンネルに入力された信号は通しません。

④ LINE OUT 項目 《LINE OUT 1-2》

本機のLINE OUT 1-2 端子およびPHONES端子 (US-4x4 は $\text{IN}1$ 端子および $\text{IN}2$ 端子) から出力する信号を選択します。

《LINE OUT 3-4》 (US-4x4 のみ)

本機のLINE OUT 3-4 端子から出力する信号を選択します。

選択項目

《Monitor Mix》

Audio Input On/Off 項目で設定した入力チャンネルの信号とUSB経由でパソコンから出力される信号に MONITOR BALANCEつまみで調整したミックス信号を出力します。

《Computer Out 1-2》

USB経由でパソコンから送られてくる再生信号 《Computer Out 1-2》 を出力します。

《Computer Out 3-4》 (US-4x4 のみ)

USB経由でパソコンから送られてくる再生信号 《Computer Out 3-4》 を出力します。

メモ

MONITOR BALANCEつまみを左側 (INPUT) へ最大に回すと入力チャンネルの信号のみとなり、右側 (COMPUTER) へ最大に回すとパソコンからの信号のみとなります。それ以外では、両方の信号がミックスした信号になります。

⑤ Auto Power Save ON 項目

スタンドアロンモード動作時に、本機に入力信号が検出されない状態 (-60dBFS以下の状態) が30分間経過した場合に、自動的に電源をオフ (スタンバイ状態) にするかを設定します。

- チェックボックスにチェックマーク (☑) を入れると、オートパワーセーブ機能がオンになり、自動的に電源がオフ (スタンバイ状態) になります。
- チェックボックスのチェックマーク (☑) を外すと、オートパワーセーブ機能はオフになります。

最新情報のお知らせ機能

お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時にお知らせが表示されることがあります。

メモ

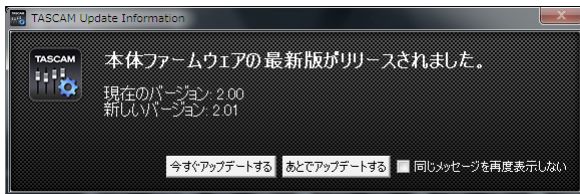
「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェックすることで、次回から起動時に同じメッセージを表示しないようにできます。

Settings Panel・ファームウェアの自動更新機能

新しいバージョンのSettings Panelおよびファームウェアがリリースされた場合、お使いのパソコンがインターネットに接続されていると、Settings Panel起動時に自動更新案内が表示されます。



[Settings Panelの更新の場合]



[ファームウェアの更新の場合]

最新のSettings Panel / ファームウェアをご使用になりたい場合、「今すぐアップデートする」ボタンをクリックしてください。ファイルが自動的にダウンロードされ、更新ソフトが起動します。更新したくない場合、あとで更新したい場合は、「あとでアップデートする」ボタンをクリックして更新ウィンドウを閉じてください。

メモ

- 「同じメッセージを再度表示しない」チェックボックスをチェック (✓) することで、次回から起動時に同じウィンドウを表示しないようにできます。
- 更新ウィンドウを閉じたあとでも、メニューバーのHelp→Updateを選択することで再び更新ウィンドウを表示させることができます。

第7章 アプリケーションガイド

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法をご紹介します。

DAWソフトウェア

バンドルDAWソフトウェア

バンドルしているDAWソフトウェアのダウンロードやインストール、および各種の設定方法に関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、それぞれのクイックスタートガイドをダウンロードして、ご覧ください。

その他のDAWソフトウェア

その他のDAWソフトウェアをご使用の場合は、お手持ちのDAWソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

使用目的とドライバーの組み合わせ (Windowsのみ)

	DAWなどで選択するASIOドライバー	サウンドの既定デバイス
録音用途を中心にDAWなどを使用する場合 (《Home》画面《Operating Mode》項目のMODE設定は無視されます)	US-2x2 & US-4x4*	US-2x2 または US-4x4*
再生用途を中心にDAWなどを使用する場合 (《Home》画面《Operating Mode》項目のDAWモード)		
生放送/カラオケに使用する場合 (《Home》画面《Operating Mode》項目のBROADCAST/KARAOKEモード)	US-2x2 & US-4x4 Mixing Driver	US-2x2 & US-4x4 Mixing Driver
通話アプリなどで使用する場合 (《Home》画面《Operating Mode》項目のTALKモード)		

※ ご使用の環境によってはパフォーマンスが向上することがあります。

Windows Media Player

1. OSのコントロールパネルを開きます。

メモ

コントロールパネルは、下記の方法で開きます。

Windows 10 / Windows 8.1

Windows のスタートボタンを右クリックし、《コントロールパネル》を選択。

Windows 7

Windows のスタートボタンを左クリックし、スタートメニュー上の《コントロールパネル》を選択。

2. コントロールパネル内の《サウンド》をダブルクリックして開きます。

メモ

コントロールパネルの表示方法を《アイコン》に設定すると《サウンド》アイコンが表示されます。

3. 《再生》タブ画面の《US-2x2 (またはUS-4x4)》または《Mixing Driver 1 for US-2x2 & US-4x4》を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の《既定のデバイスとして設定》をクリックします。
このとき、緑のチェックマーク (✓) が選択したデバイスに移動します。



[Windows 8.1 の場合の画面]

メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《再生》タブ画面と同様に《録音》タブ画面もご使用になるASIOデバイスに応じて既定のデバイスを設定してください。

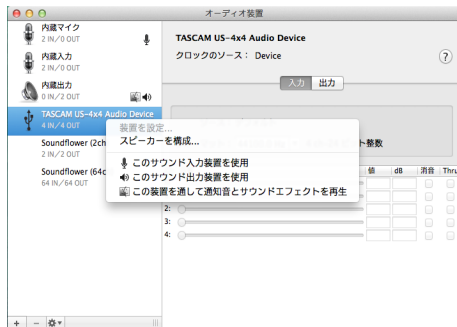
4. 設定が終了したら、《OK》ボタンをクリックします。
5. Windows Media Player を起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Player を起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player 側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Player を再起動してください。
- 上記設定/操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

Mac OS X と iTunes

1. **《アプリケーション》** フォルダー内の **《ユーティリティ》** フォルダー内にある **《オーディオMIDI設定》** をダブルクリックし、**《オーディオ装置》** 画面を開きます。
2. **《TASCAM US-2x2 (またはUS-4x4) Audio Device》** をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら **《TASCAM US-2x2 (またはUS-4x4) Audio Device》** をクリックして表示されるポップアップメニュー内の **《このサウンド出力装置を使用》** をクリックします。スピーカーのマークが **《TASCAM US-2x2 (またはUS-4x4) Audio Device》** に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、**《TASCAM US-2x2 (またはUS-4x4) Audio Device》** を **《このサウンド入力装置を使用》** に設定します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

第8章 スタンドアローンモード

概要

- 本機の電源が入っていて、USBケーブルがパソコンとつながっていないとき、本機はスタンドアローンモードと呼ばれるモードで動作します。
- 本機をマイク用プリアンプとして動作させ、入力音をモニタリングすることが可能です。録音をせずに、楽器の練習をするときなどに便利な機能です。
- 外付けの電源デバイスが必要です。詳しくは、10 ページの「電源の接続」をご参照ください。

スタンドアローンモード動作時の各設定

スタンドアローンモード動作時は、入力信号が固定値に設定された内蔵デジタルミキサーおよび出力セレクターを通して、出力端子に出力されます。また、スタンドアローンモード動作時は、USBインジケータが点滅状態になります。

Settings Panel の設定

Settings Panel の設定は、以下に設定されます。

- Direct Monitor Settings Input 1-2 : Mono
- Direct Monitor Settings Input 3-4 (US-4x4のみ) : Mono
- Audio Input On/Off : 全てオン
- Line Outputs 1-2 : MONITOR
- Line Outputs 3-4 (US-4x4のみ) : MONITOR
- ERP2 Setting On/Off : 現在の設定状態を保持

第9章 MIDI インプリメンテーションチャート

MIDI インプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ペロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1: オムニ・オン、ポリ
 モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ
 モード4: オムニ・オフ、モノ

○: YES
 ×: NO

第 10 章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）まで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただけますようお願い致します。

ご使用環境

- パソコンメーカー
- モデル
- CPU
- 搭載メモリー
- OS
- 使用アプリケーション
- ウイルス対策ソフト
- 無線LANの有無

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

専用ソフトウェアをインストールできない。

↓

1. OS の確認

お使いのOSとインストールしようとしているソフトウェアの対応OSが異なっている可能性があります。インストールしようとしているソフトウェアの対応OSを、今一度ご確認ください。

2. 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合があります。常駐ソフトを終了し、再度インストールをお試しください。

本機を接続したがパソコンに認識されない。

↓

1. 専用ソフトウェアのインストール

- 専用ソフトウェアをインストールしてください。6 ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

2. USBポートの差し替え

- 本機は、USB1.1 では動作しません。USB2.0 または USB3.0 のポートをご使用ください。
- 本機の接続は、USBハブはご使用にならずに、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。
- 上記の方法で解決しない場合、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

パソコンでオーディオを再生しても音が出ない。

↓

本機のMONITOR BALANCEつまみが、左側 (INPUT) 最大に回っていないかを確認してください。

その場合、MONITOR BALANCEつまみを中央より右側に回してください。

また、本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。なお、以下の設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から音は出なくなります。

Windows

- 本書 18 ページ「第 7 章 アプリケーションガイド」の「Windows Media Player」を参照して、各OSに合わせた再生時の既定デバイスに設定してください。

Mac

1. 全てのアプリケーションを終了し、アップルメニューより《システム環境設定...》画面を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。
3. 《出力》タブから《US-2x2》(または《US-4x4》) を選択します。

設定が完了しましたらパソコンを再起動し、再生音をご確認ください。また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要がある場合があります。

特にDAWソフトウェアをご使用時には、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機の専用ソフトウェアをインストール後、先にDAWソフトウェアのドライバー設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各取扱説明書をご参照ください。

モニタリング時に入力音の遅延が大きい

ダイレクトモニター機能をご使用ください。

詳しくは、4 ページ「フロントパネル」の「⑩ MONITOR BALANCEつまみ」をご参照ください。

入力音が二重に聞こえる

DAWなどの録音ソフトウェアがその入力を出力 (モニターオンなど) に設定していないことを確認してください。

入力端子からの入力信号が、ダイレクトモニターだけでなくパソコンからの出力信号としてモニターされることにより二重に聞こえることがあります。

音切れやノイズが発生する。



パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。
パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介致します。

1. 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトが動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。
無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。
2. お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機の Settings Panelにてバッファサイズ (レイテンシー) の設定を大きくすることをお試しください。(Windowsのみ)

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

- ① ご使用のOS (Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7) に適した設定方法でコントロールパネルを開きます。
 - Windows 10 は、Windows のスタートボタンから **《コントロールパネル》** をクリックし、コントロールパネルを開きます。さらに **《システム》** アイコンをクリックします。
 - Windows 8.1 は、通常のスタート画面 (メトロUI画面) で右クリックし、**《すべてのアプリ》** をクリックします。さらに **《コンピュータ》** を右クリックし、**《プロパティ》** を選択します。
 - Windows 7 は、Windows のスタートボタンから **《コンピュータ》** を右クリックし、**《プロパティ》** を選択します。
- ② **《システムの詳細設定》** をクリックします。
- ③ **《システムのプロパティ》** 画面の **《詳細設定》** タブで、**《パフォーマンス》** 枠の **《設定...》** をクリックします。
- ④ **《パフォーマンスオプション》** 画面の **《視覚効果》** タブで、**《パフォーマンスを優先する》** を選択します。

[Mac の場合]

- ① アップルメニューより **《システム環境設定...》** 画面を開き、**《省エネルギー》** を選択します。
- ② **《コンピュータのスリープ》** を **《しない》** に設定します。
- ③ **《ディスプレイのスリープ》** を **《しない》** に設定します。

メモ

Mac OS Xのバージョン、またはMacによっては、この設定がない場合があります。

4. USBポートの差し替え

USBポートによっては本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別のUSBポートに接続してください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください (USBキーボード・USBマウスは、接続しても構いません)。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の(オンボードの)USBポートに接続してください。

バンドルDAWソフトウェアのお問い合わせについて



バンドルDAWソフトウェアにつきましては、弊社ではサポート外となります。

ご使用については、バンドルDAWソフトウェアのヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

第 11 章 仕様

定格

サンプリング周波数

44.1k/48k/88.2k/96kHz

量子化ビット数

16/24ビット

入出力定格

アナログオーディオ入力定格

マイク入力 (バランス)

US-2x2	: IN 1-2
US-4x4	: IN 1-4
コネクタ	: XLR-3-31 相当 (1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
入力インピーダンス	: 2.2k Ω
規定入力レベル	: - 65dBu (0.0004Vrms、ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: - 8dBu (0.3090Vrms、ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: +8dBu (1.9467Vrms)
ゲイン幅	: 57dB

インストゥルメント入力 (アンバランス)

IN 1-2	(MIC/LINE INSTスイッチを「INST」に設定時)
コネクタ	: 6.3mm (1/4") TS標準ジャック (Tip: HOT, Sleeve: GND)
入力インピーダンス	: 1M Ω 以上
規定入力レベル	: - 63dBV (0.0007Vrms、ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: - 6dBV (0.5015Vrms、ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: + 10dBV (3.162Vrms)
ゲイン幅	: 57dB

ライン入力 (バランス)

US-2x2	: IN 1-2
US-4x4	: IN 1-4
(MIC/LINE INSTスイッチを「MIC/LINE」に設定時)	
コネクタ	: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック (Tip: HOT, Ring: COLD, Sleeve: GND)
入力インピーダンス	: 10k Ω
規定入力レベル	: - 53dBu (0.0017Vrms、ゲインつまみMAX時)
規定入力レベル	: + 4dBu (1.228Vrms、ゲインつまみMIN時)
最大入力レベル	: + 20dBu (7.75Vrms)
ゲイン幅	: 57dB

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (バランス)

US-2x2	: LINE OUT 1-2
US-4x4	: LINE OUT 1-4
コネクタ	: 6.3mm (1/4") TRS標準ジャック (Tip: HOT, Ring: COLD, Sleeve: GND)
出力インピーダンス	: 110 Ω
規定出力レベル	: + 4dBu (1.273Vrms)
最大出力レベル	: + 20dBu (7.75Vrms)

ヘッドホン出力 (PHONES)

コネクタ	: 6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
最大出力	
US-2x2	: 18mW + 18mW以上 (THD+N 0.1%以下、32 Ω 負荷時)
US-4x4 (端子 1、2 合計)	: 45mW + 45mW以上 (THD+N 0.1%以下、32 Ω 負荷時)

コントロール入出力定格

MIDI IN 端子

コネクタ	: DIN 5 ピン
フォーマット	: 標準MIDIフォーマット

MIDI OUT 端子

コネクタ	: DIN5 5 ピン
フォーマット	: 標準MIDIフォーマット

USB

コネクタ	: USB Bタイプ 4 ピン
転送速度	: USB 2.0 High Speed (480Mbps)

オーディオ性能

マイクアンプEIN (入力換算雑音)

- 127dBu以下 (150 Ω 終端、ゲインつまみMAX時)

周波数特性

IN1-IN4 → LINE OUT (BALANCED)、ヘッドホン (HP) 出力	
44.1kHz、48kHz時	
20Hz	: +0dB/- 0.3dB (JEITA)
20kHz	: +0dB/- 0.1dB (JEITA)
20kHz	: +0dB/- 0.5dB (HP出力、JEITA)
88.2kHz、96kHz時	
20Hz	: +0dB/- 0.3dB (JEITA)
40kHz	: +0dB/- 0.2dB (JEITA)
40kHz	: +0dB/- 2.0dB (HP出力、JEITA)

S/N比

101dB以上
(MIC/LINE入力 → LINE OUT、ゲインつまみMIN時、JEITA)

歪率

0.003%以下 (MIC/LINE入力 → LINE OUT、1kHzサイン波、規定入力レベル、最大出力レベル、JEITA)

クロストーク

95dB以上 (MIC/LINE入力 → LINE OUT、1kHz、JEITA)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) で確認ください。

Windows

対応OS

Windows 10 32ビット
Windows 10 64ビット
Windows 8.1 32ビット
Windows 8.1 64ビット
Windows 7 32ビット SP1 以上
Windows 7 64ビット SP1 以上
(Windows 8、Windows Vista および Windows XP はサポート外)

対応パソコン

USB2.0を装備したWindows 対応パソコン

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz 以上 (x86)

メモリー

2GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコン全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac

対応OS

macOS High Sierra (10.13 以降)
macOS Sierra (10.12 以降)
OS X El Capitan (10.11 以降)

対応パソコン

USB2.0を装備したMac

CPU/クロック

デュアルコアプロセッサ 2GHz以上

メモリー

2GB以上

iOSデバイス

iOS 7 以降のApple製iOSデバイス

対応オーディオドライバー

Windows

ASIO2.0、WDM、MIDI

Mac

Core Audio、Core MIDI

一般

電源

US-2x2 : パソコンよりUSB経由で供給*
US-4x4 : 専用ACアダプター (PS-P1220E、DC12V)

※ iOSデバイス使用時は、別途外付け電源デバイスが必要です。別売のACアダプター PS-P520Eまたは外付けバッテリーパック BP-6AAをご使用になることを強く推奨します。他の電源デバイスをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスをご使用ください。

- 供給電圧：5V
- 供給電流：700mA以上

消費電力

US-2x2 : 2.5W
US-4x4 : 5W

外形寸法

US-2x2 : 186 x 65 x 160mm (幅 x 高さ x 奥行き)
US-4x4 : 296 x 65 x 160mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量

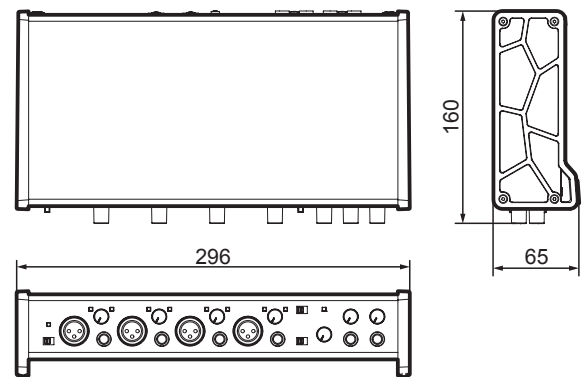
US-2x2 : 1.1Kg
US-4x4 : 1.6Kg

動作温度

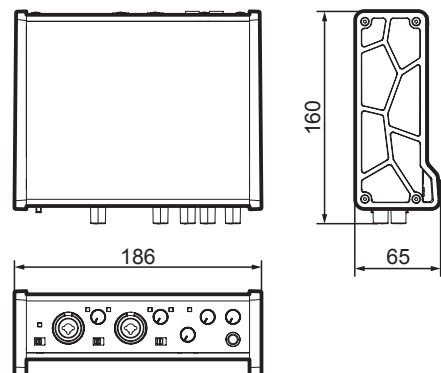
5 ~ 35℃

寸法図

US-4x4



US-2x2



- リファレンスマニュアルのイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外觀が予告なく変更することがあります。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<https://tascam.jp/jp/>